

前回、二〇〇三年から〇七年ぐら
いの大躍進のお話を書きましたが、
その間の〇五年の二月、エイチーム
では大きな事件がありました。

当時は〇二年に立てた高い目標が
順調に達成。十人ほどのスタッフで
したが、社内の雰囲気も良くなって
いき、僕もさらなる高い目標を立て
ようとしていました。そんな時、ふ
とこんなことを思ったのです。「ス
タッフは僕が勝手に決めた目標に命
令されて働いているだけで、スタッ
フが願う目標と違つのではないか」
当時、著名な経営者が書いた多く
の本を読み、「理念」の大切さを感
じ、一人でパソコンに向かい「経営
理念」を書いたりしていました。し

経営理念ができた

お高生
林

かし、どうも内容にしっくりこず、
書いては消すの連続でした。今思え
ばこの頃、技術者だった僕はお金を
稼ぐことだけを目的とした商売人状
態だったのだと思います。

そんなある日、社内スタッフによ
る重大かつ不正な裏切りの行為が発
覚したのです。今までみんなであん
なに苦労して、やっと希望の光が見
え、これからみんな幸せになれる
と思っていたのに…。

この事件が発覚した日の深夜、オ
フィスで一人パソコンに向かい心の
底から書いた一文が現在のエイチー
ムの経営理念です。「みんな幸せ
になれる会社にするこゝろ」

この経営理念を書いた日が、僕自
身が商人から経営者になつた日
なのかもしれません。

(エイチーム社長)